

U N C C A 活動 1 0 周年によせて

前副代表、幹事 太田幹夫

宇部市地球温暖化対策ネットワーク（U N C C A）会員及び関係者の皆様、10周年おめでとうございます。10年一昔といえますから、U N C C A が発足したのはひと昔前になるのですね。

思い起こせば2000年に循環型社会基本法が制定され、併せて家電、自動車、食品などのリサイクル法の関係六法が制定・改正されました。そして2001年には環境省が発足して、国内外で【環境問題】に対する関心が高まり、日本がC O P 3の京都議定書を批准した2002年の10月にU N C C A は発足したと記憶しております。



宇部市は『産・官・学・民』の共同作業となるいわゆる「宇部方式」により、大気汚染防止対策や市民の生活環境を守るための環境保護・改善対策への活動への貢献に対して国際的に評価されて U N E P (国連環境計画)の『グローバル500賞』を受賞しております。

このような栄誉ある賞を受賞した自治体の市民として、その経験を生かして、京都議定書の目指す温室効果ガス削減に向け、企業・学術研究機関・行政・市民・N P O 団体等の協働のもと、地域から先導的役割を果たすべく、また、環境をキーワードとした地域の活性化の一助になればとの思いが重なりあって、藤田前市長をはじめとする宇部市の関係者や熱い思いを持つ市民の発案でU N C C A は生まれました。

発足当時は会員数も少なく、活動も暗中模索の状態が続きましたが、会のあり方や事業方針について随分と活発な議論が交わされました。そうした中、ワーキンググループを結成して毎週の様子に市役所の2階や活動センターなどに集まって、休耕田の活用方法、或いは廃油の利用によるB D Fの製造、ケナフの育成、市民太陽光発電、家庭における節電のトライアルなど様々な検討を行って来た事を懐かしく思い出します。

そのU N N C C A も今や会員が115団体、約17,000人強となり、ホームページを拝見させて頂くと、省エネ推進活動、リサイクル活動、自転車・公共交通機関等の利用促進活動、学校での省エネ教室の開催など、民生部門、運輸部門を中心とした温室効果ガス削減に向けて実に多彩な活動に活発に取り組んでおられる姿が見られます。

“継続は力なり”とか申します。この歴史ある活動を末永く続けて頂く事をお願いすると共にU N C C A の一層のご発展を祈念致します。